

118 福王寺の木造日光菩薩立像(観音菩薩)



指 定 市有形文化財 昭和61年 9 月10日  
所在地 協 和  
所有者 福 王 寺

日光菩薩は、月光菩薩とともに薬師如来を本尊とする脇侍であるが、薬師如来は焼失してしまい、日光・月光菩薩だけが今に伝わっている。

このうち、日光菩薩は南北朝時代の作で檜材を用いた寄木造りである。顔立ちは細身であり、身体全体も細身であり肩の張りもしなやかである。特に腰をややひねり具合にした表現をしている。光背の造りは他にあまり例がない。これらの様子は、平安時代の様式を残しているものであり、月光菩薩に比べるとやや古いとする説もある。右手と左手指が欠落しているが、地域の歴史を知る上でも極めて重要な菩薩像である。